

【法定研修】不適切支援を生まないチームづくり（前編・講義①）

【別紙】解答・詳しい解説

【法定研修】不適切支援を生まないチームづくり（前編・講義①）

1. 解答：×

解説

記事では、講義①でまず大切にしているのは、虐待と不適切ケア・不適切支援を、まったく別の話として切り離さないことだと書かれています。不適切支援は虐待と同じではありませんが、無関係でもありません。小さなズレを見過ごすと、利用者の安心や尊厳が少しずつ失われていくからです。

2. 解答：○

解説

記事には、不適切ケア・不適切支援の多くは、最初から悪意で行われるわけではないとあります。現場では、忙しさや焦り、予定を優先したい気持ちなどから、「仕方がない」「よくあること」として起こってしまいやすいと説明されています。

3. 解答：○

解説

記事では、「早くして！」「今は動かないで！」「そのまま座っていて！」などの言葉は、安全確保や作業の都合から出ることもあるが、説明や納得の機会がないまま繰り返されると、利用者にとっては行動を制限される言葉として受け止められると示されています。

4. 解答：×

解説

講義①では、不適切支援を個人の性格や資質だけの問題にしない視点が重視されています。多忙、人手不足、情報共有不足、価値観の違い、慣習など、さまざまな要因が重なることで判断がずれやすくなるため、支援の構造や職場環境を見直す必要があると説明されています。

5. 解答：○

解説

記事では、不適切支援が起きる背景として、多忙や人手不足、時間に迫られる業務の流れ、情報共有の不足、職員ごとの価値観の違い、「前からこうしている」という慣習が挙げられています。これらは個人の問題だけではなく、職場全体で見直すべき要因です。

6. 解答：権利侵害

解説

記事には、虐待は法に照らして明確に禁止される権利侵害だと書かれています。したがって空欄には権利侵害が入ります。

【法定研修】 不適切支援を生まないチームづくり（前編・講義①）

7. 解答：無関係

解説

記事本文では、不適切ケア・不適切支援は虐待とは違うが、無関係ではないと明記されています。したがって空欄には無関係が入ります。

8. 解答：スピーチ

解説

記事では、「早くして!」「今は動かないで!」など、言葉による拘束に関わる考え方として、スピーチロックが紹介されています。したがって空欄にはスピーチが入ります。

9. 解答：環境

解説

講義①では、不適切支援は「問題のある職員を見つけること」ではなく、支援の構造や職場の環境を見直すこととして捉える必要があると書かれています。したがって空欄には環境が入ります。

10. 解答：不適切

解説

記事では、時間に追われていたり、予定どおりに進めたい気持ちが強くなったりすると、「仕方がない」「よくあること」として不適切支援が起きてしまいやすいと説明されています。したがって空欄には不適切が入ります。